

特集

# 日南町の公共交通 について考える

公共交通の現状と課題、  
持続可能な公共交通を目指すには



少子高齢化、人口減少、自家用車の普及によって、町営バスの利用者は年々減少しています。今月号では、日南町営バスの現状と課題について取り上げ、持続可能な公共交通を目指すための取組みを特集します。

## 町営バスの誕生

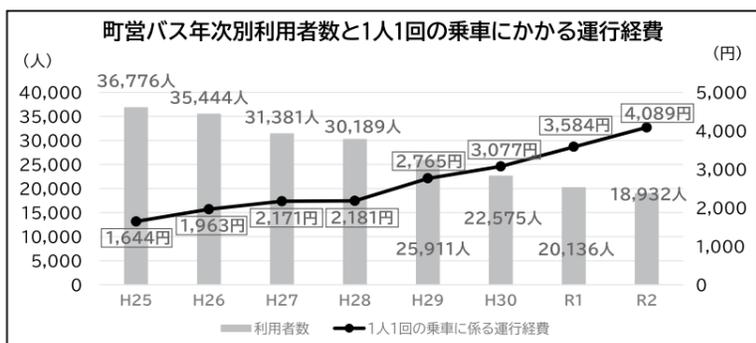
日南町では、昭和4年から日ノ丸バスの町内バス運行が行われていましたが、自家用車の普及や人口減少による背景から、年々バス利用者は減少し、平成16年には日ノ丸自動車撤退することになりました。その後は、町営委託事業者によるバス運行を開始し、デマンドバスや巡回バスの導入、運行ダイヤの大幅な変更、車両の小型化、タクシー助成制度の導入、利用が少ない便を減便するなどの様々な政策を展開してきました。

## 運営状況は年々厳しく

現在の日南町の公共交通事業は毎年約7千万円の経費を支出しており、対する料金収入は過去5年で平均約4百万円、人口減少に伴う利用者減少から、運行収入も年々減少しています。さらに平成31年度



H28年たったもバス出発式



※R2年度の1人1回の乗車に係る経費は4,089円。運賃200円ということは、3,889円が税金でまかなわれていることとなります。

からは、日南町内に在住する小学生の定期券購入費用の全額減免を開始したことで、大幅に運行収入が減少しました。町営バスの利用者数、収入の減少に伴い、ひとり1回の乗車にかかる運行経費は年々増加しています。そういった中でも、交通手段を持たない方にとって欠かすことの出来ない町営バスは、限りある財源をやりくりしながら、今後も維持していかなければなりません。

## 現在の課題と

### 検討中の解決策

課題1  
駅やバス停が遠く、公共交通を使えない

### 検討中の解決方法

- ① ドア・ツー・ドア運行の充実
- ② おでかけタクシーチケット助成制度の見直し

① 利用者の減少により、大型バスで運行する必要がなくなってきました。車両を小型化することで、運行可能範囲も広がり、自宅付近で乗降することができるようになります。

そのような運行を可能にするための検討をしていますが、予約が必須になること、運行時間の増加、スクール臨時便への対応など、まだまだ検討すべき課題があります。

② 居住地域によって助成券利用に差が出ている現状です。助成対象への範囲等まだまだ検討すべき課題があります。

課題2  
より使いやすい運行方法を！

### 検討中の解決方法

- ① 分かりやすい運行体系の構築

① 現在の町営バス運行は、路線バス、デマンドバス、曜日限定便、スクール臨時便対応によるデマンドバスの運休など、様々な運行体系が混在し、利用者にとって分かりにくい状況にあるため、効率的かつ分かりやすい運行体系の構築を目指します。

課題3  
公共交通をなくさないためにも…

### 検討中の解決方法

- ① 使用車両の小型化
- ② 地域住民による交通確保の推進

① 利用状況に応じ、使用車両の小型化を実施することで、燃料費、維持管理費を抑えます。② 町営バスのみですべての移動のニーズに応じることは不可能であり、共助交通など、地域の住民による移動の確保を推進することが必要です。



## 課題に対する取組み状況

令和元年5月、中央大学、鳥取県と共同で、地域の課題把握と現状に即した交通体系の構築を目的とし、中山間地域の公共交通に関する調査事業を開始しました。

令和元年度は、新しい交通体系の構築に向けた聞き取り調査を実施しました。その中でいただいた意見をもとに、令和2年度は福栄地域を対象に、「分かりやすい運行体系」、「自宅から目的地までのドア・ツー・ドア運行」の2つに重点をおき、実証実験を行いました。

## 利用者だけでなく、町全体の課題として

これまで長きに渡り取り組んできた公共交通の課題ですが、限られた財源、人員の中ですべてのエリアをカバーすることは、困難な状況にあります。県内でも厳しい状況に耐えかね運行事業者が撤退してしまうという事例も発生しています。そういった状況の中で、タクシー事業者との協力、またNPなど地域住民による運行、ライドシェア（乗合いでの移動）などは今後必要な取り組みとなってきます。こうした動きが町全体に

## 実証実験を行いました

令和2年に福栄地域で行った実証実験についてお伝えします。

**内容** 11月～12月の2ヶ月間、自宅のドアから、目的地のドアへ送迎するドア・ツー・ドア運行の実証実験

**方法** 事前に住所・電話番号を登録し、従来通りデマンド便を予約すると自宅付近でバスに乗車することができる。（帰りも自宅付近で降車）

**結果** 「家の前まで来てくれるのはありがたい」「今後も継続して欲しい」「運行の種類が色々だったが（路線バス、デマンドバス、曜日限定便など）分かりやすくなった」という声を多くいただき、バスの利用しやすさの向上につながる結果となった。

**課題** 運賃設定を含めた財源確保、ドライバーの確保など

今後も限られた人材、予算の中で持続可能な公共交通を目指すための検討を継続しています。

## もし、公共交通がなくなる日 cameたら…

広がっていくことで、きめ細かなサービスの提供が可能となり、ひいては公共交通空白地域の解消に繋がります。一方で、地域住民による運行、ライドシェアはドライバー、車両の確保、保険などの諸課題により、なかなか進んでいない現状もあります。公共交通の課題は一朝一夕に解決するものではありません。公共交通を確保していくことは、多くの中山間地域の自治体が抱える問題でもあります。そして、住民の皆様が安心して地域で生活していたために、公共交通など移動手段を確保していくことは日南町にとっても重要課題の一つです。今、自分が困っていないなくても、もし皆さんや皆さんの大切な人が運転できなくなる時がきたら…。公共交通についての課題は利用者だけでなく町全体の課題です。令和4年10月からスタートする新たな日南町の公共交通が、行政だけでなく住民の皆様にも参画していただき、課題解決が図れるものとなるよう推進していきます。

お問い合わせ

企画課 029-111-15